

## II. 当番世話人講演

「泌尿器科疾患に対する腹腔鏡下手術 ～……, 前立腺全摘除術, そしてダヴィンチ支援手術へ～」

新潟県済生会三条病院泌尿器科

渡辺 竜助

泌尿器科領域における腹腔鏡下手術は1976年に非触知精巣に対する腹腔内検索に膀胱鏡を用いて施行されたのが最初とされている。その後、1991年に腎摘除術、そして1992年に世界で最初となる原発性アルドステロン症に対し左副腎摘除術が新潟大学泌尿器科で施行された。本邦では20世紀末より、泌尿器科領域での腹腔鏡下手術の標準術式の確立にともない急速に普及しはじめ、年間6000件を超える腹腔鏡下手術が施行されている。当科では1995年に精索静脈瘤に対し、

腹腔鏡下手術第1例目となる内精血管結紮術を施行した。以後、副腎摘除術、腎摘除術の経験を経て、2001年に限局性前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術を開始し、2012年6月までに約400超例の腹腔鏡下手術を施行してきた。そして今春手術支援ロボット『ダヴィンチサージカルシステム』を導入し、2012年5月30日に本機器支援による前立腺全摘除術を施行した。当科における腹腔鏡下手術の現況を報告する。

## III. 特別講演

『ロボット支援前立腺全摘出術』

東京医科大学病院泌尿器科 教授

吉岡 邦彦